

解説 【症例 1】

症例 : 70歳代 女性 1経妊 1経産

臨床所見 : 3週間前に不正性器出血にて近医受診

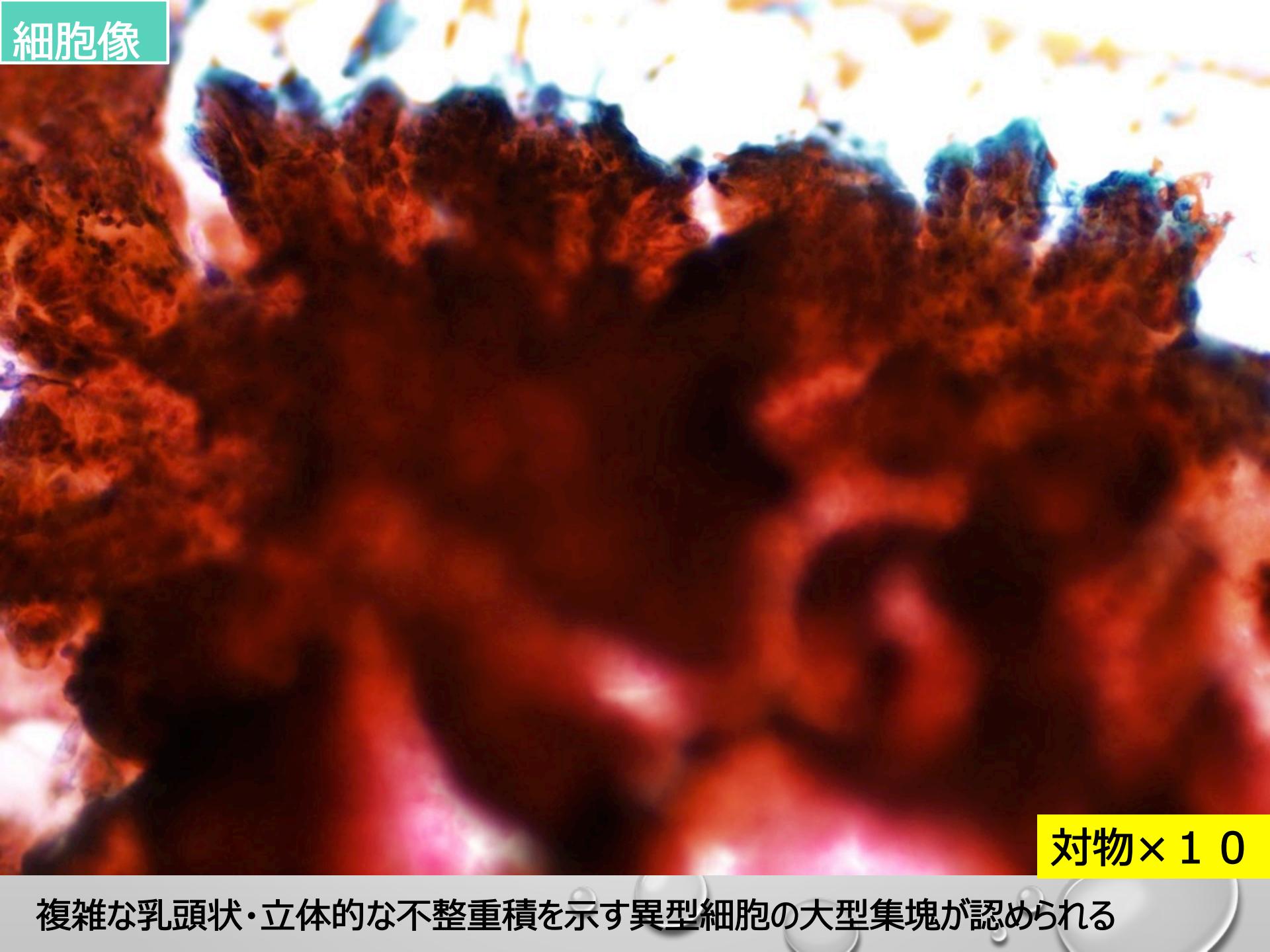
MRI にて粘膜下筋腫と内膜肥厚を
指摘され当院産婦人科紹介受診

採取部位 : 子宮体部内膜

採取器具 : エンドサイト

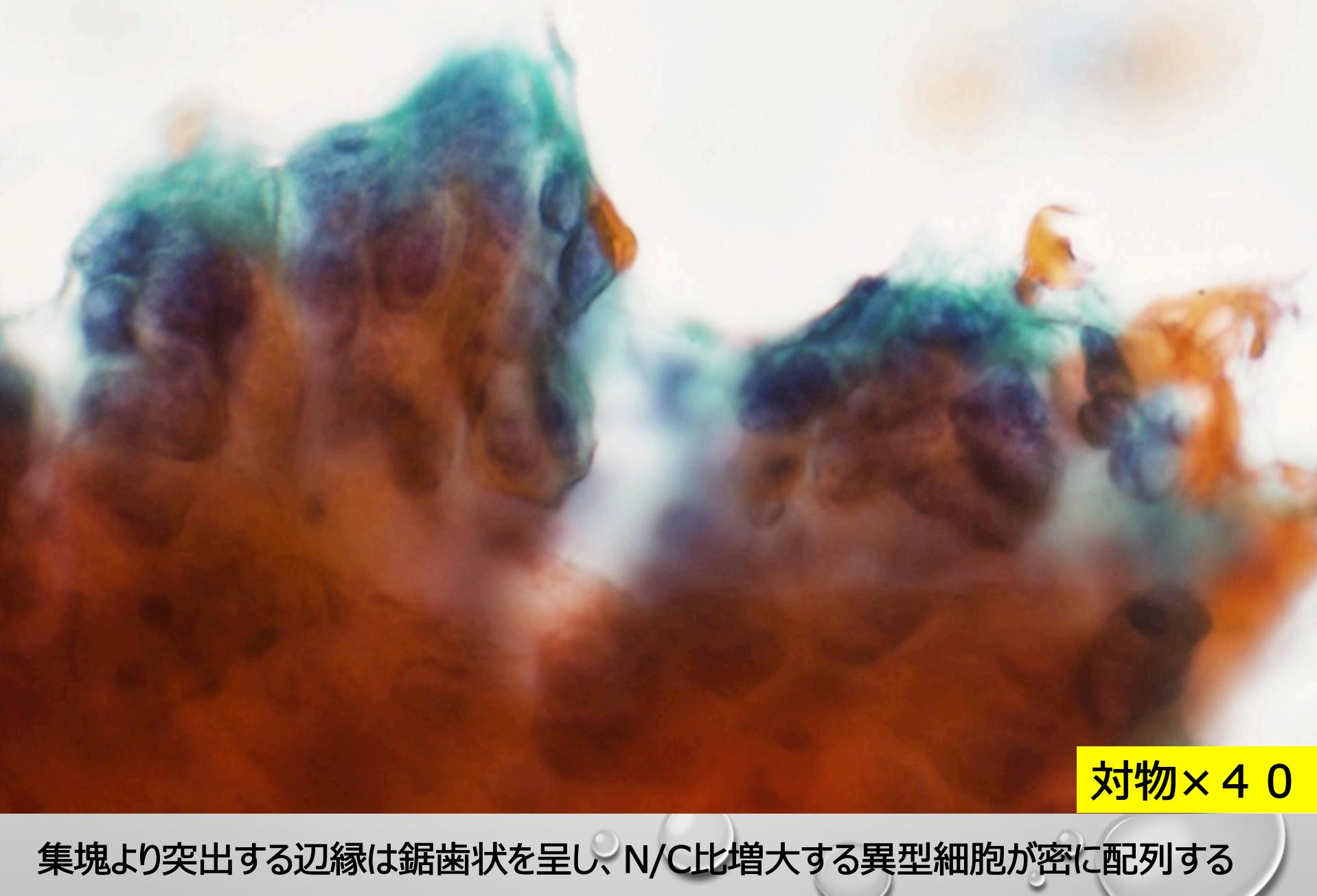
染色方法 : パパニコロウ染色

細胞像



対物×10

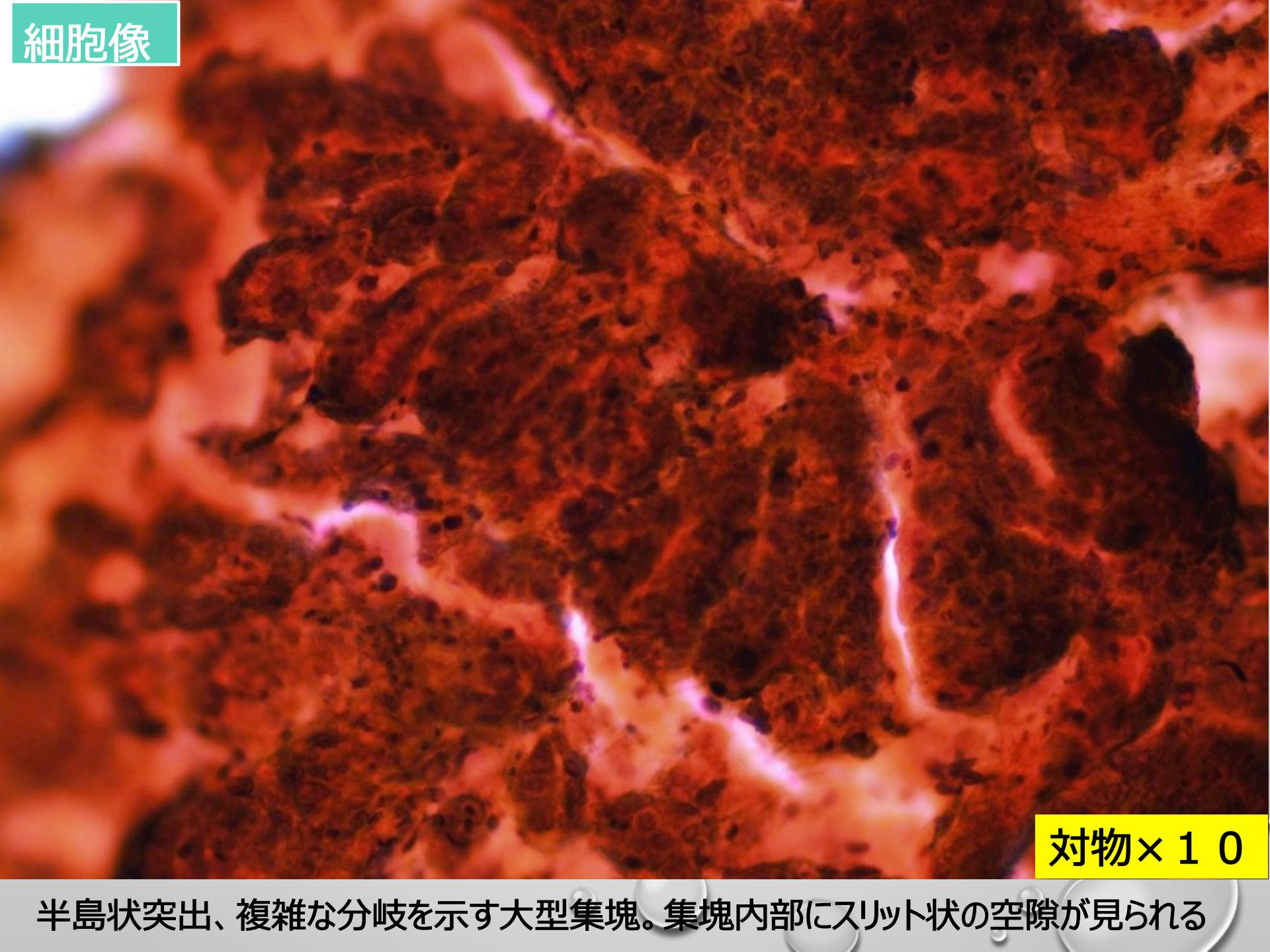
複雑な乳頭状・立体的な不整重積を示す異型細胞の大型集塊が認められる



対物×40

集塊より突出する辺縁は鋸歯状を呈し、N/C比増大する異型細胞が密に配列する

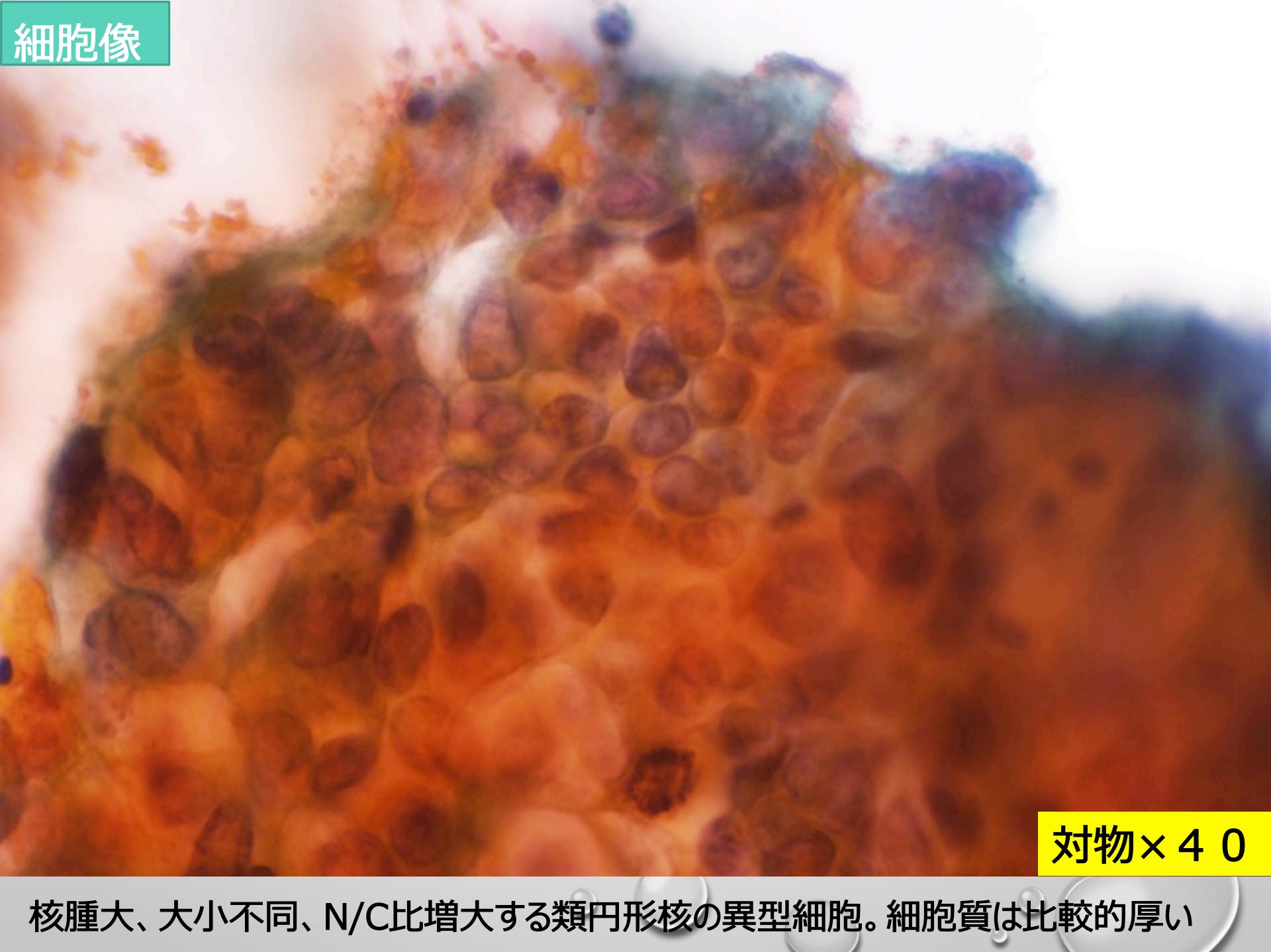
細胞像



対物×10

半島状突出、複雑な分岐を示す大型集塊。集塊内部にスリット状の空隙が見られる

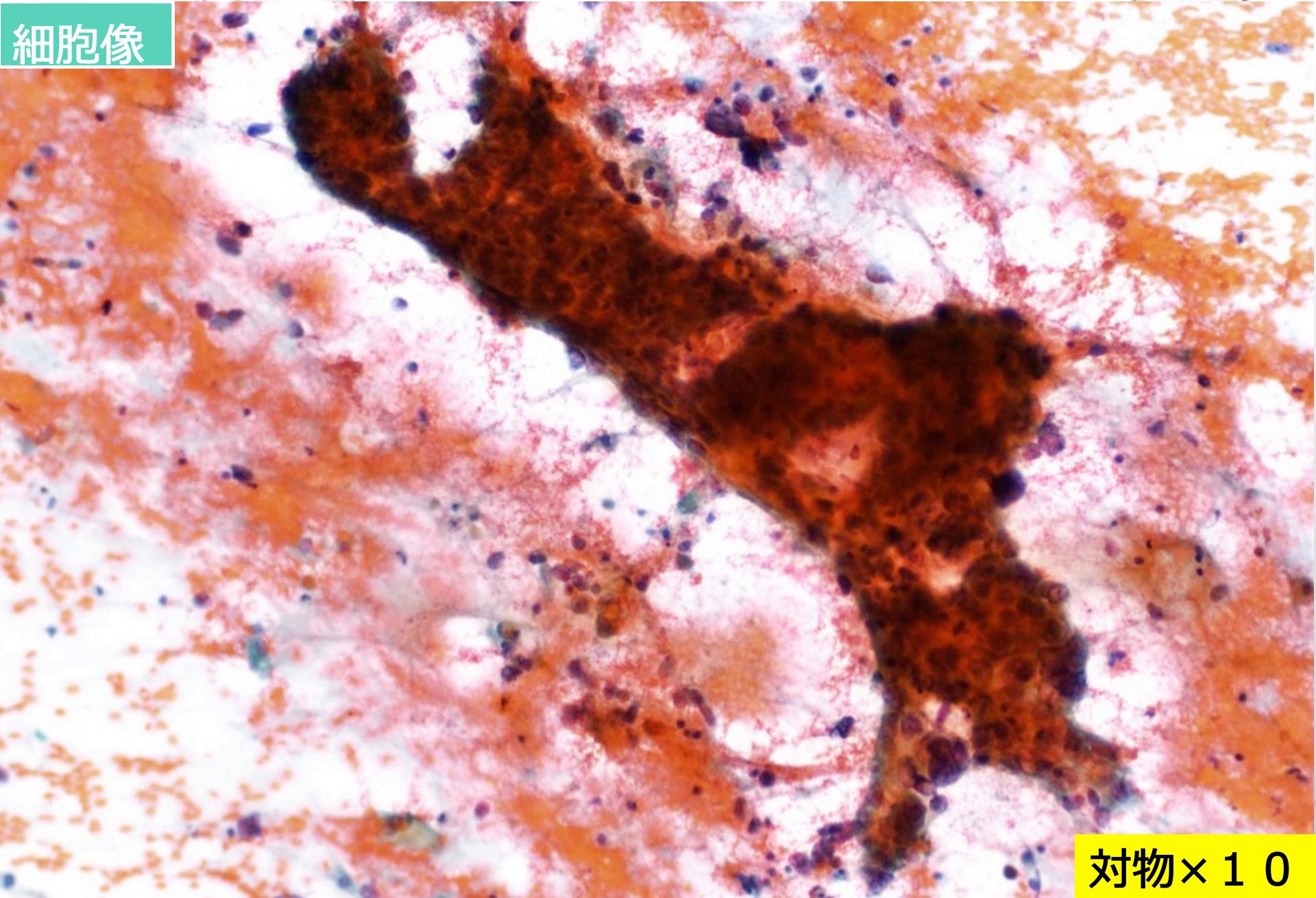
細胞像



対物×40

核腫大、大小不同、N/C比増大する類円形核の異型細胞。細胞質は比較的厚い

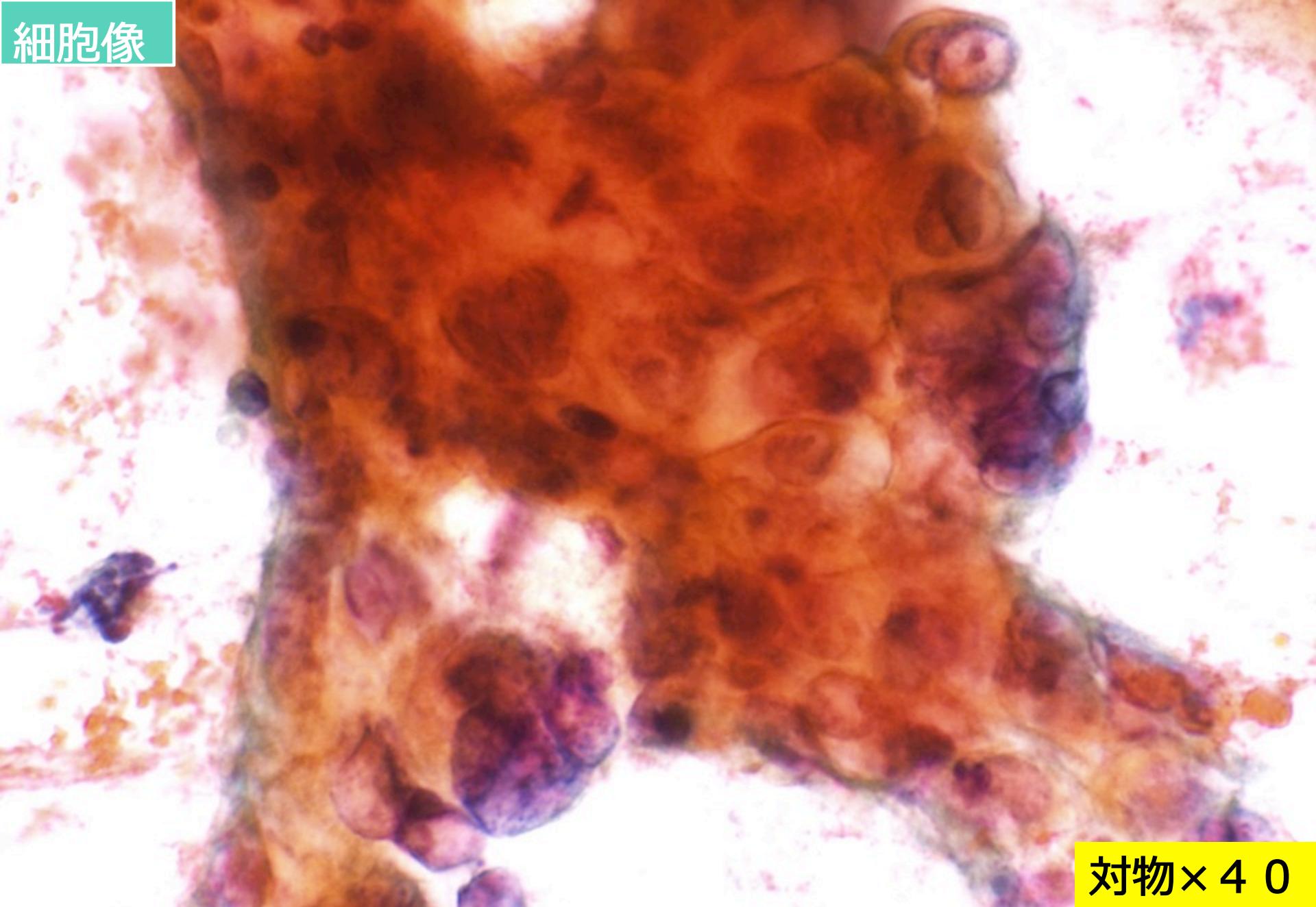
細胞像



対物×10

背景は出血性を呈し、不整重積傾向を示す核密度の高い小型集塊も散見される。

細胞像



対物×40

明瞭な核小体を有し、クロマチン増量を示す。大型核、多核異型細胞も見られる。

細胞像のまとめ

背景

出血性

集塊構成

複雑な分岐を示す乳頭状構造の大型集塊が主体

不整重積傾向を示す核密度の高い小集塊

集塊辺縁鋸歯状、半島状突出、スリット状の空隙が見られる

細胞異型

核大小不同、N/C比増大する類円形核の異型細胞

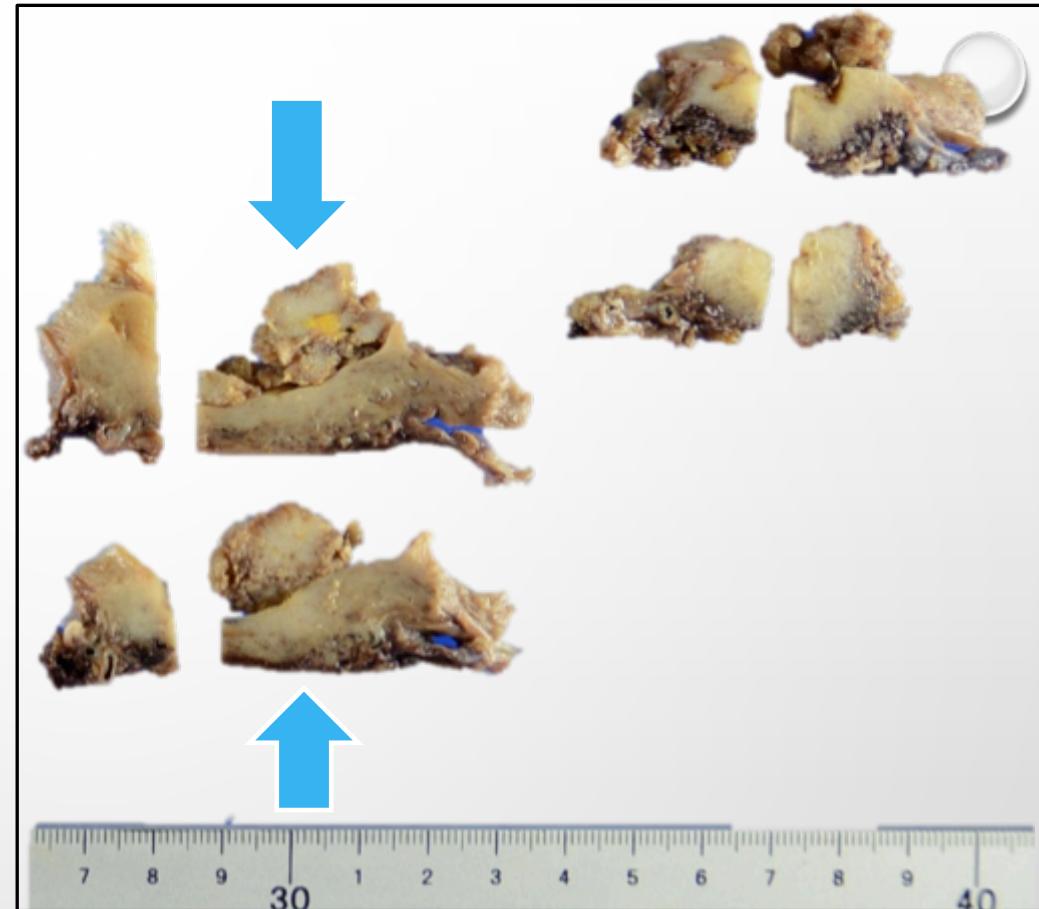
クロマチン増量、腫大した明瞭な核小体を有する

大型核や多核も見られる

解答； **漿液性腺癌**

serous adenocarcinoma

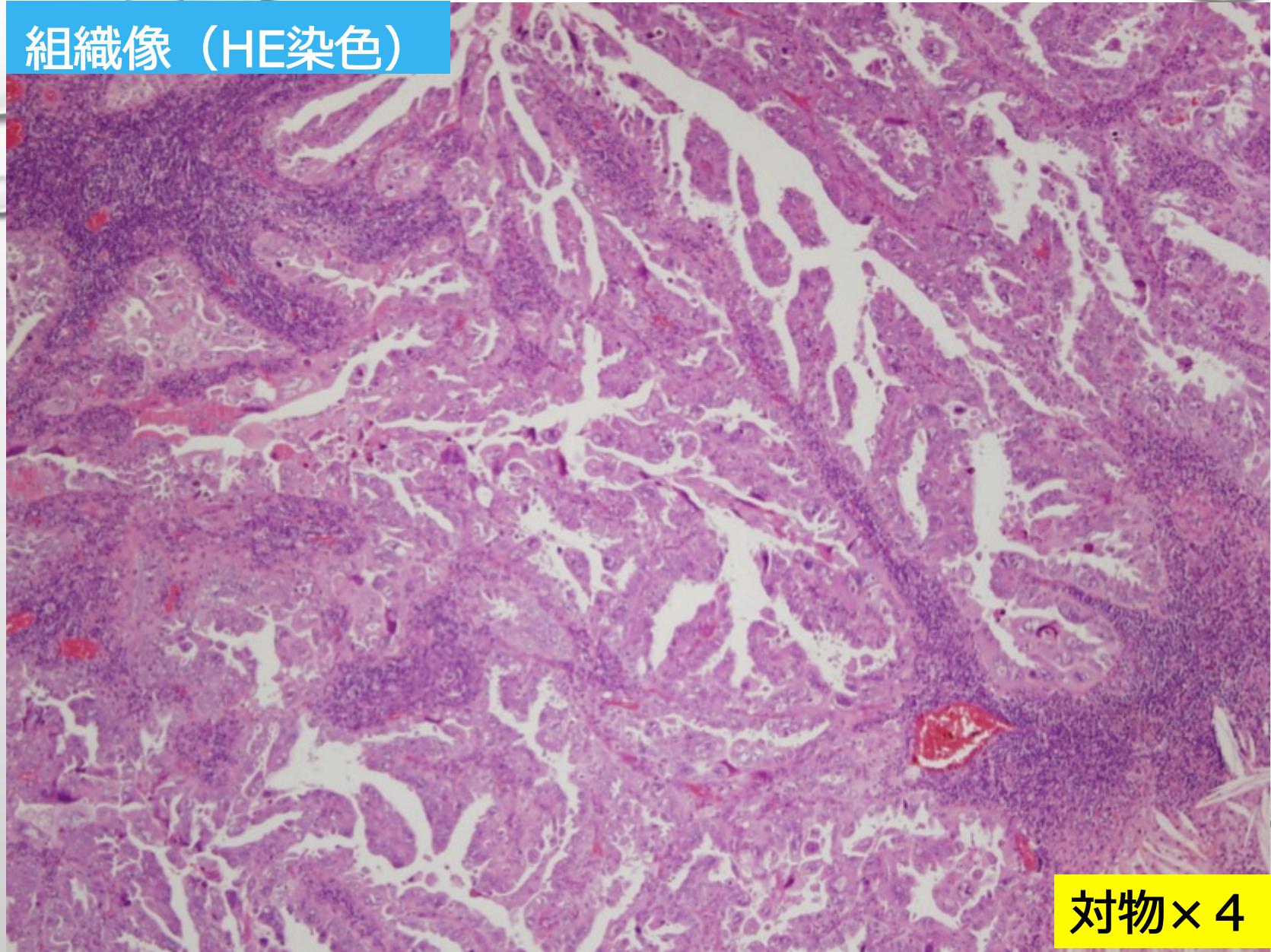
子宮全摘術 + 両側付属器切除



子宮体部左壁からポリープ状に
突出する 20 mm 大の乳頭状腫瘍

子宮体部前壁の筋層内に
50mm 大の筋腫

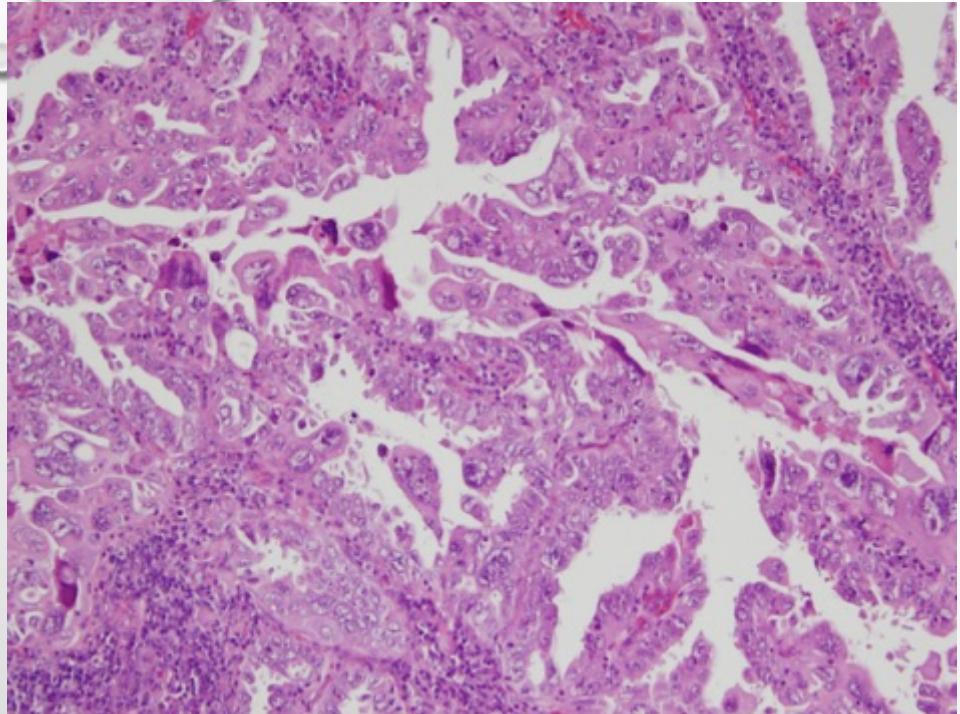
組織像 (HE染色)



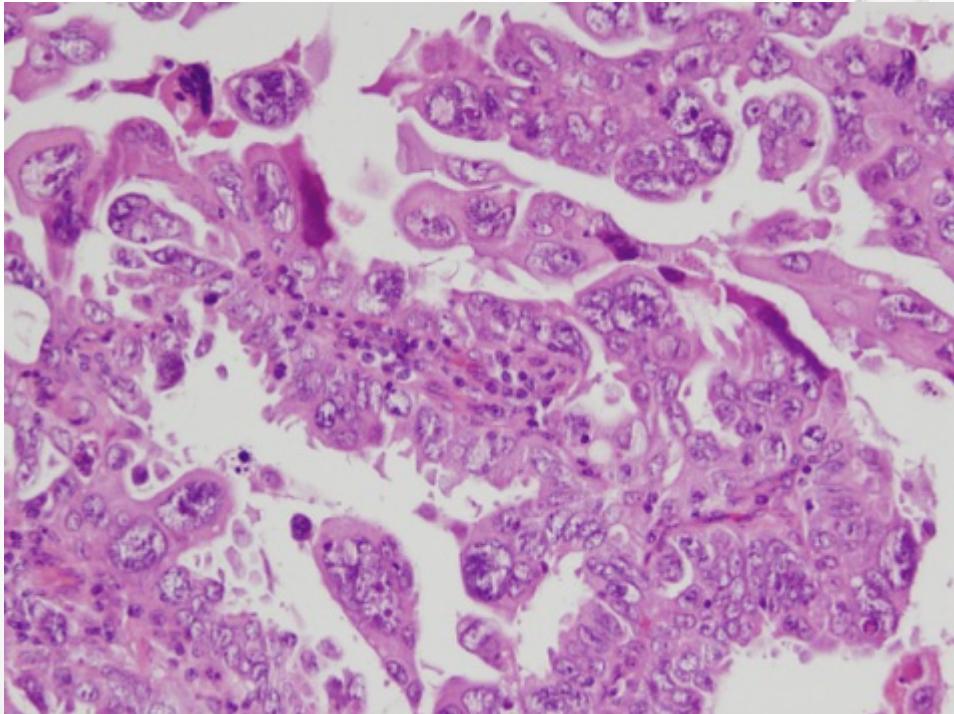
対物×4

腫瘍細胞が血管性間質を軸とし複雑に分岐する乳頭状構造を呈し増殖

組織像 (HE染色)



対物 $\times 10$



対物 $\times 40$

核小体明瞭、N/C比増大する異型の強い好酸性の腫瘍細胞。
大型核も混在する。 大

【組織診断】

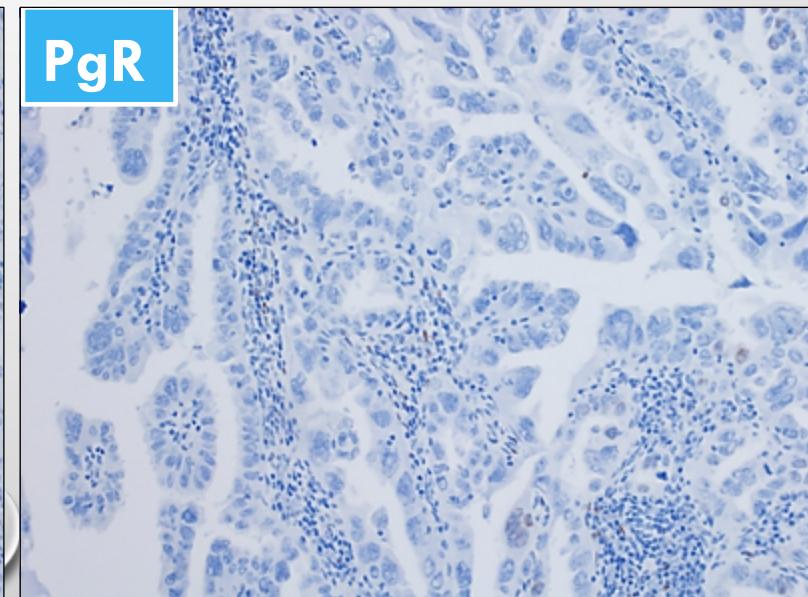
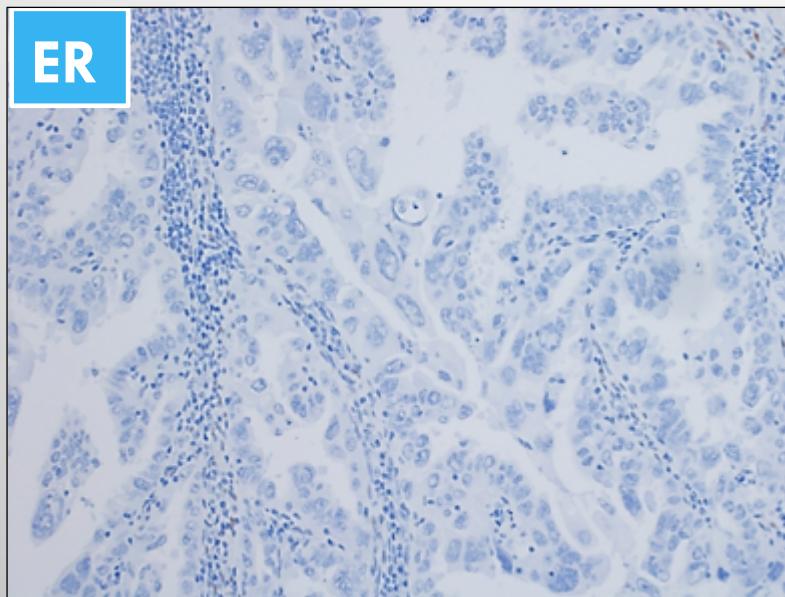
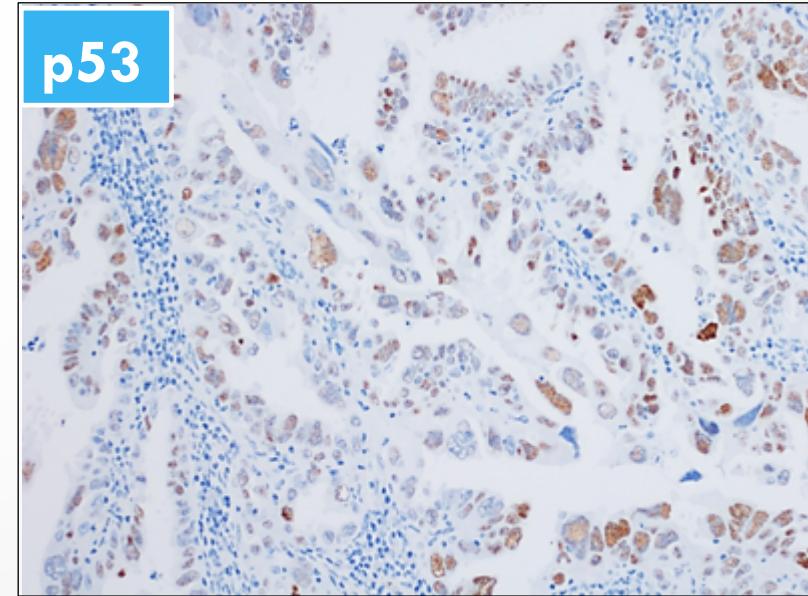
Serous adenocarcinoma of the uterine corpus

免疫組織化学染色

Antibody	Clone	IHC
p53	Leica DP7	+ diffuse, strong
WT-1	Leica WT49	-
ER	Leica 6F11	-
PgR	Leica 16	-
Vimentin	Leica V9	-

ER;estrogen receptor

PgR;progesterone receptor



対物×10

漿液性腺癌（本症例）の 鑑別に挙げられる細胞像との比較

- ① 子宮内膜異型増殖症
- ② 類内膜腺癌
- ③ 明細胞腺癌
- ④ 癌肉腫

（類内膜腺癌と
漿液性腺癌との鑑別が
臨床的に重要となる



漿液性腺癌は
①類内膜腺癌に比べ予後が不良
②類内膜腺癌と術式が異なる
(単純 or 準広汎子宮全摘出術)

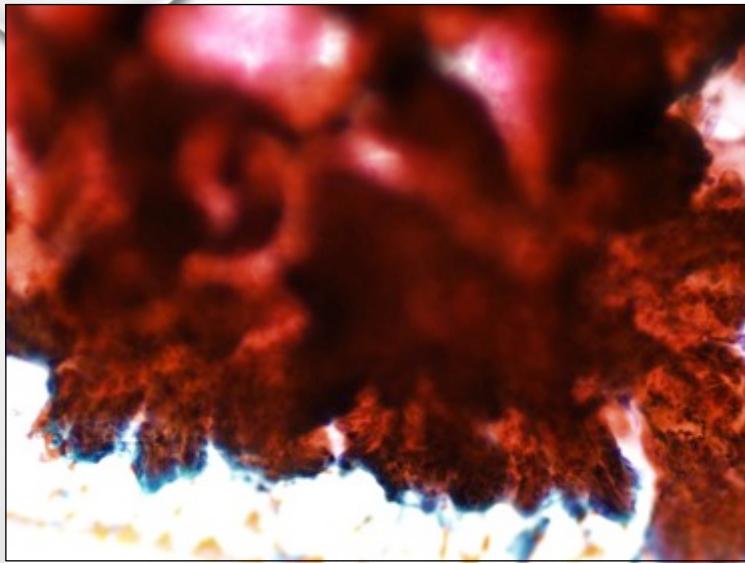


細胞診による組織型推定は適切な術前評価につながる

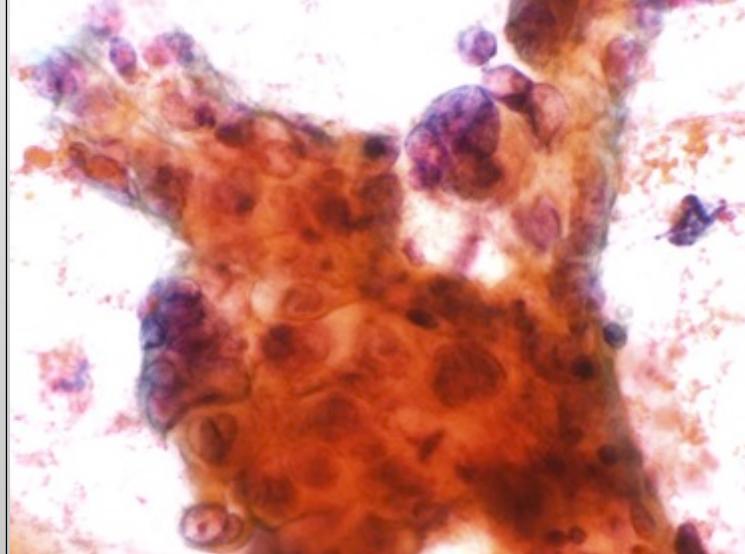
漿液性腺癌（本症例）

VS

異型内膜増殖症

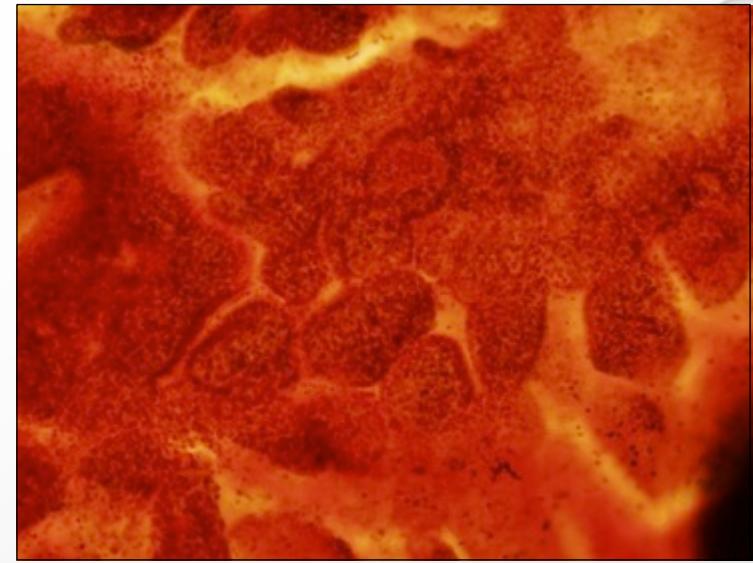


複雑な乳頭状ないし不整重積集塊

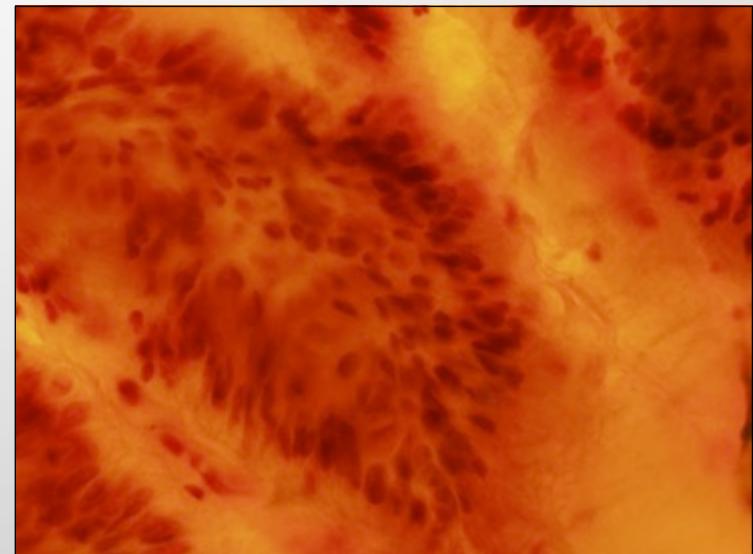


類円形核に大型核・多核など高度な核異型

対物×10



間質細胞を伴う腺腔構造の増生



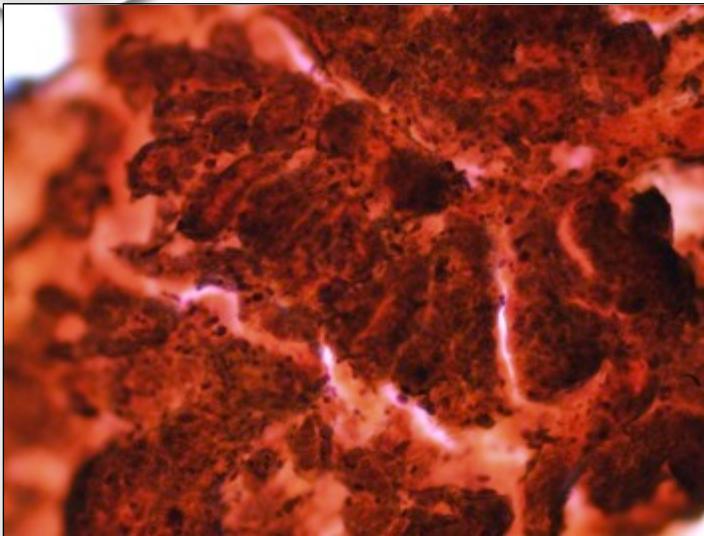
対物×40

腫大橢円形核が柵状配列

漿液性腺癌（本症例）

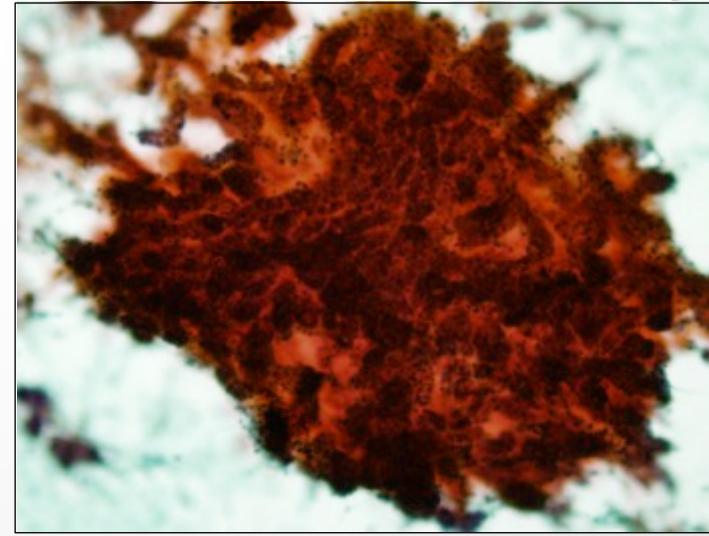
VS

類内膜腺癌

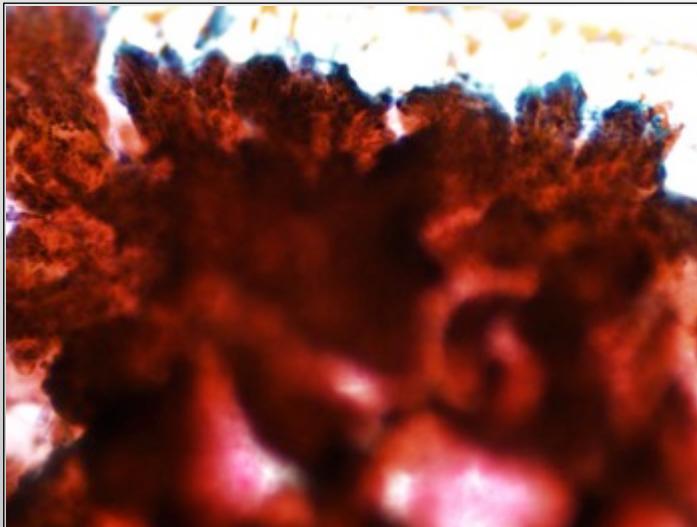


優勢な乳頭状を示す大型集塊

対物×10

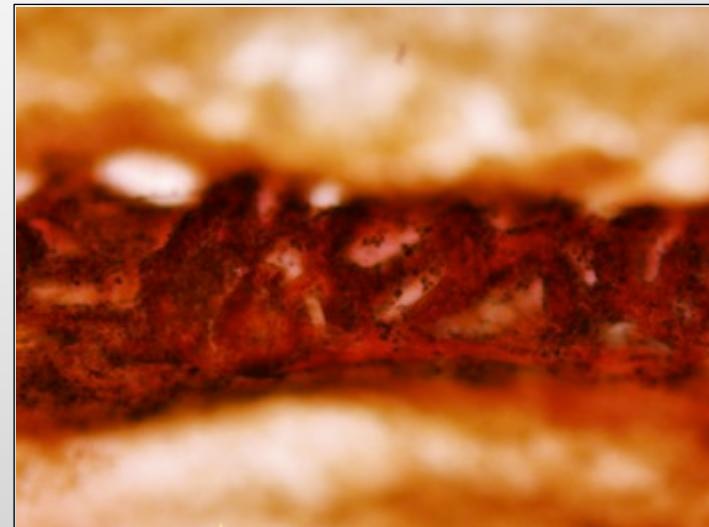


敷石状・不整樹枝状重積集塊



腺腔の欠如、鋸歯状突出辺縁

対物×10

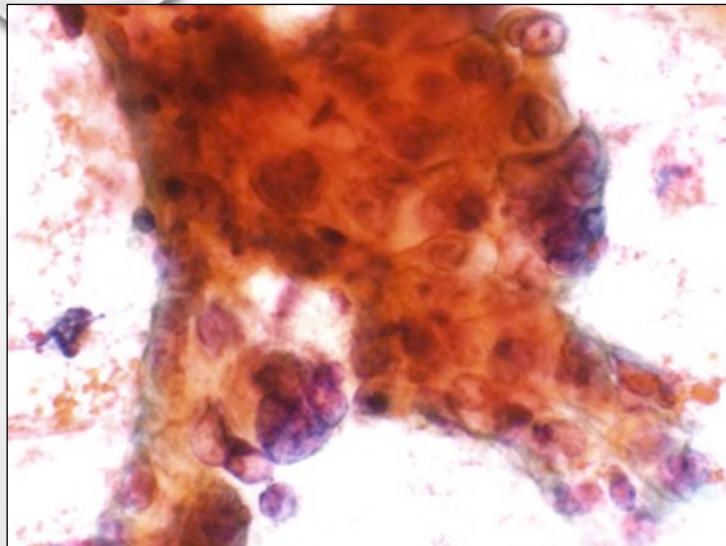


一部に腺腔構造を伴う

漿液性腺癌（本症例）

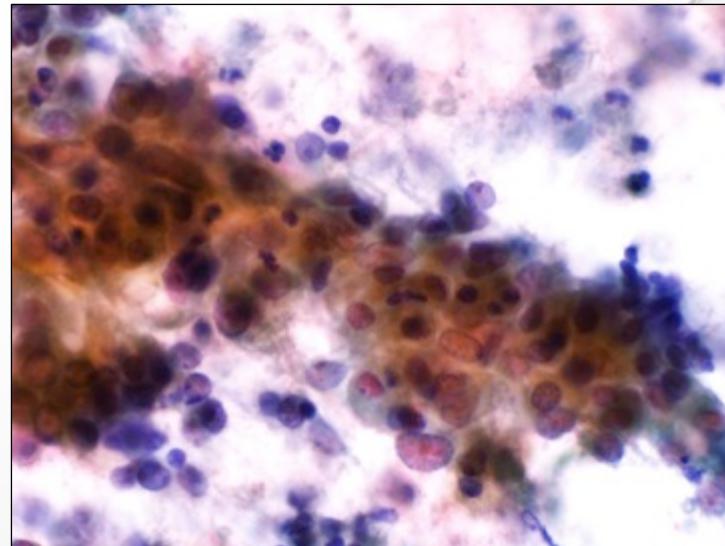
VS

類内膜腺癌

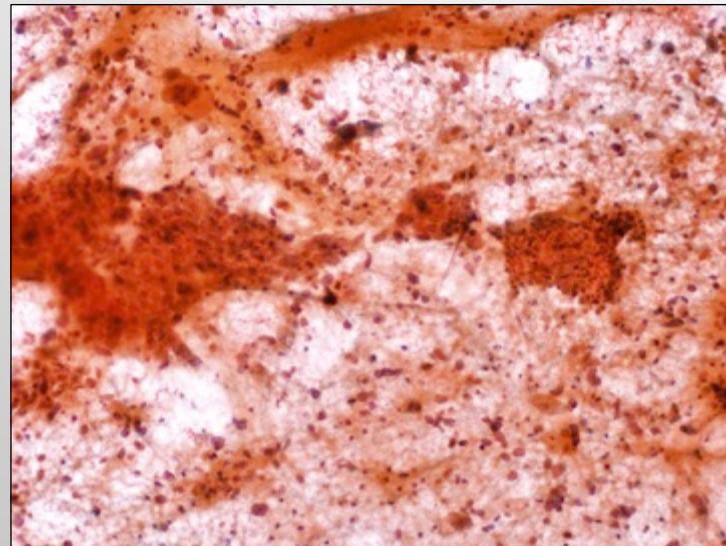


対物×40

核大小不同、大型核や多核、明瞭な核小体

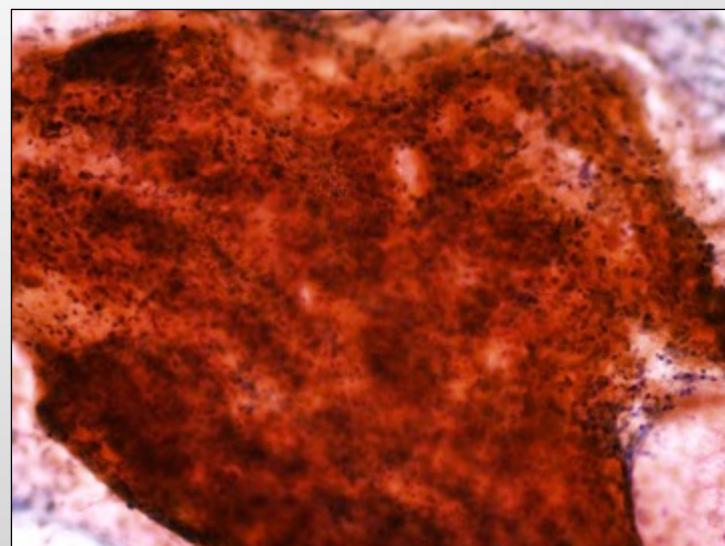


腫大類円形核と小型核小体明瞭



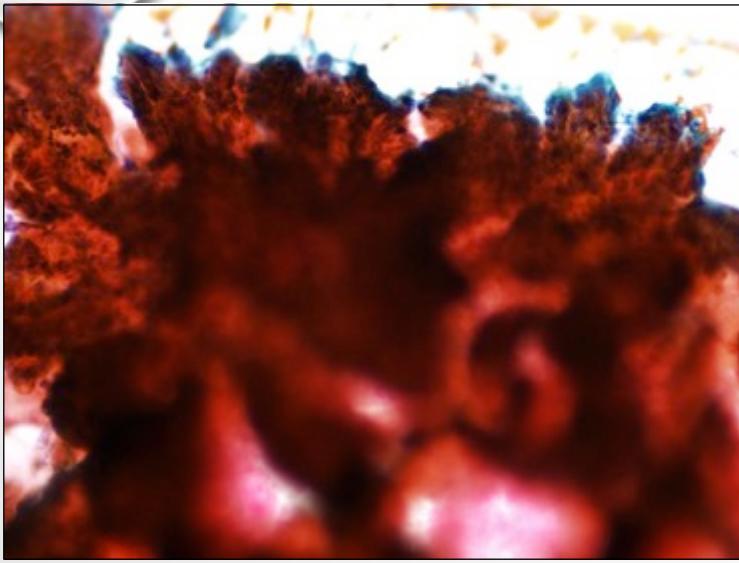
対物×10

背景は萎縮内膜であることが多い



背景は増殖期内膜（増殖症病変）

漿液性腺癌（本症例）



複雑な大型乳頭状・不整重積集塊

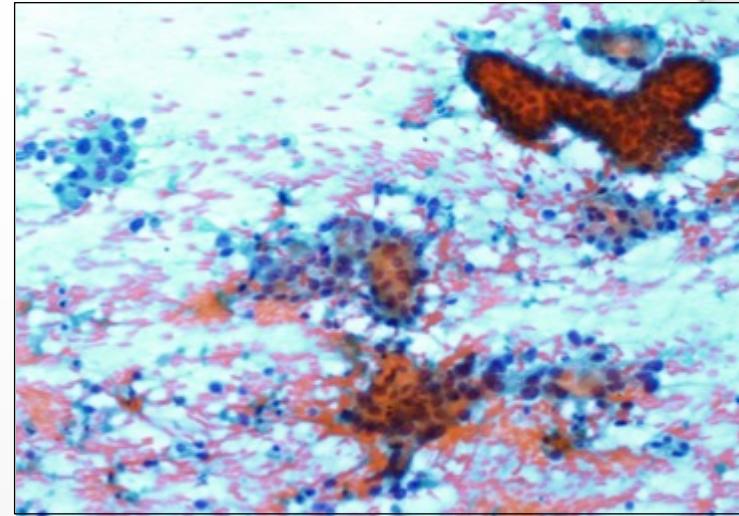


N/C比増大が顕著、細胞質厚い

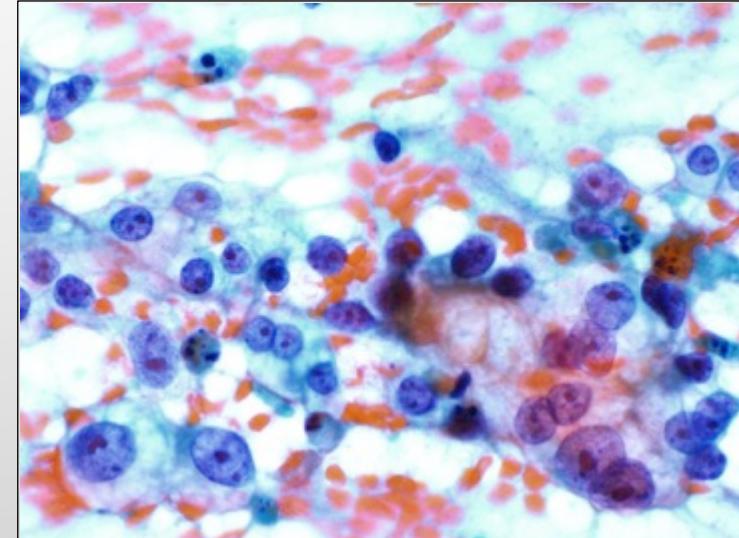
VS

明細胞腺癌

※卵巣明細胞腺癌捺印細胞像



小型乳頭状・シート状・散在性裸核

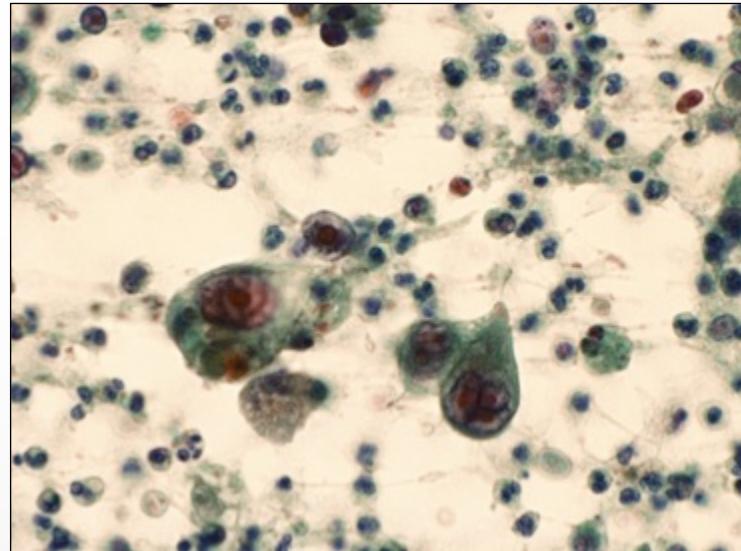
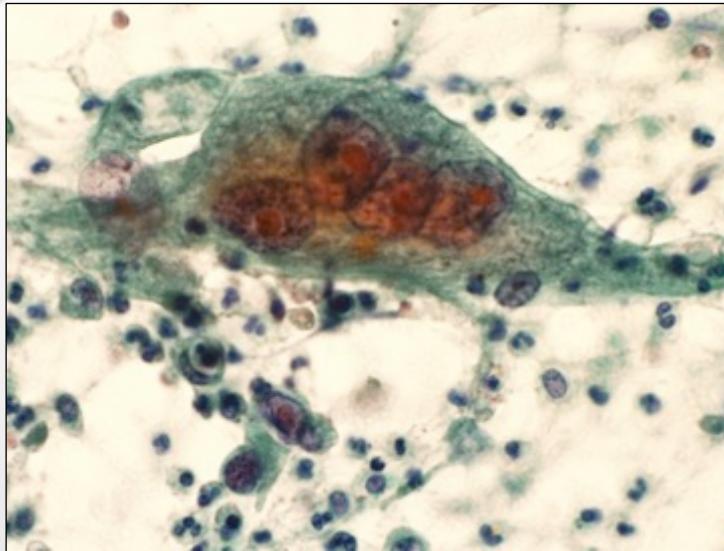


N/C低い、細胞質空胞や清明な広い胞体

対物×10

対物×40

癌肉腫



対物×40

紡錘形、多形成を示す肉腫成分の混在

癌肉腫における肉腫成分の特徴

- ① 孤立散在性に出現
- ② 核縁が非薄でクロマチンの付着や肥厚を認めない
- ③ クロマチン細顆粒状で不均等な凝集がない
- ④ 核形不整で切れ込みなどがある
- ⑤ 核小体の腫大や数の増加

小林織恵ほか
子宮癌肉腫の細胞学的検討と細胞診による術前診断の意義
J. Jpn. Soc. Clin. Cytol 2008. 47(6):430~436

当院における子宮体部漿液性腺癌7例の細胞像

- ・ 対象；手術材料にて漿液性腺癌と診断された7例の術前子宮内膜細胞診検体（症例検討で提示した本症例を含む）
- ・ 期間；2012年～2015年の4年間
- ・ 採取部位；子宮体部 エンドサイト法
- ・ 年齢構成；平均 75歳（64歳～81歳）

過去の検討で重要と言われている下記の項目に注目し再鏡検査を行った

【漿液性腺癌の細胞所見】

- ① 腫瘍壊死性背景
- ② 多数の乳頭状集塊
- ③ 大型で大小不同に富んだ核
- ④ 複数の明瞭な核小体
- ⑤ 砂粒小体

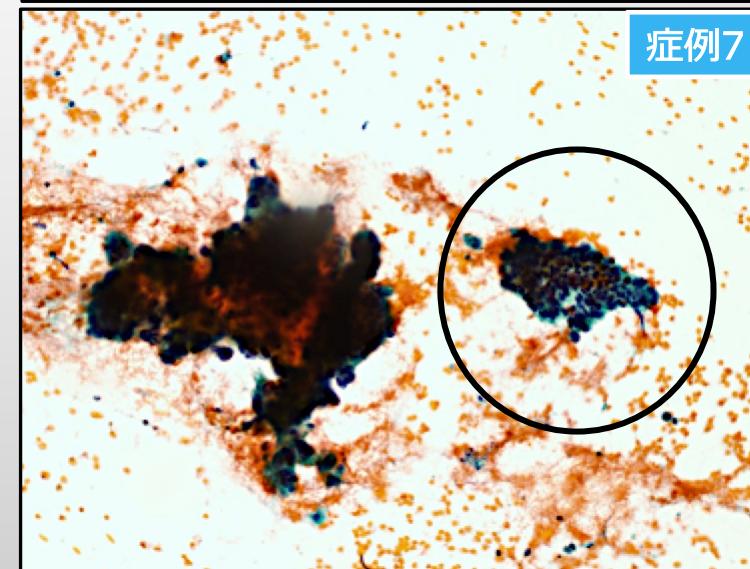
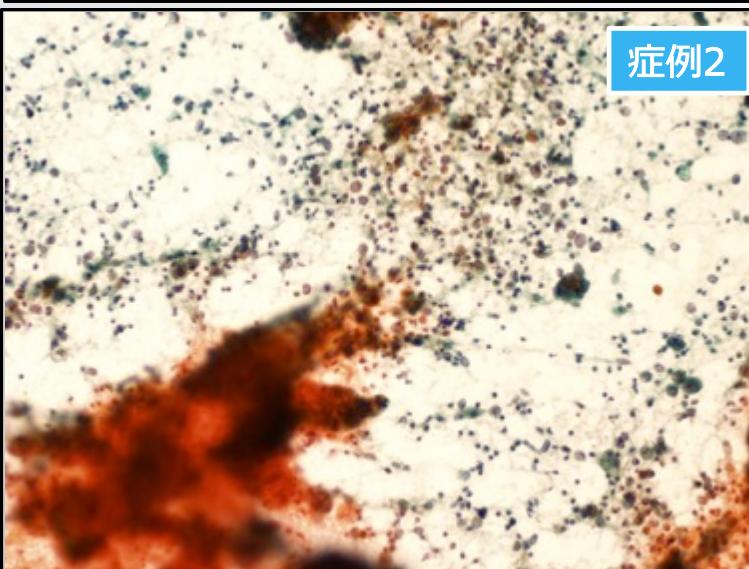
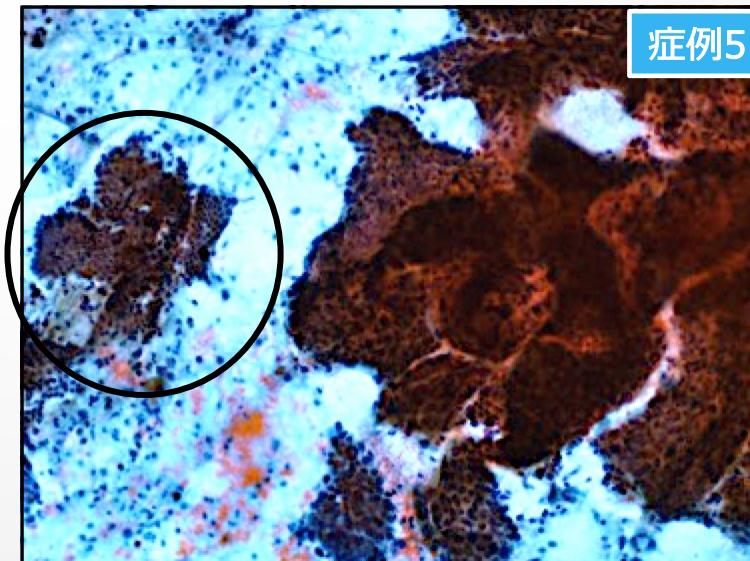
T.Hagiwara et al.
Clinico-cytological study of uterine papillary serous carcinoma. Cytopathol 2005;16:125～131

子宮体部漿液性腺癌 7 例の細胞像

①腫瘍壊死性背景… 3 例

萎縮性内膜の混在… 6 例

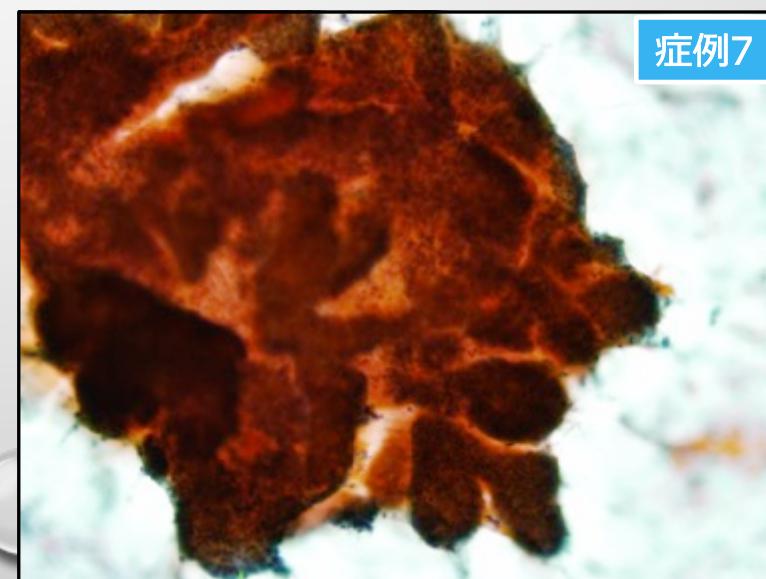
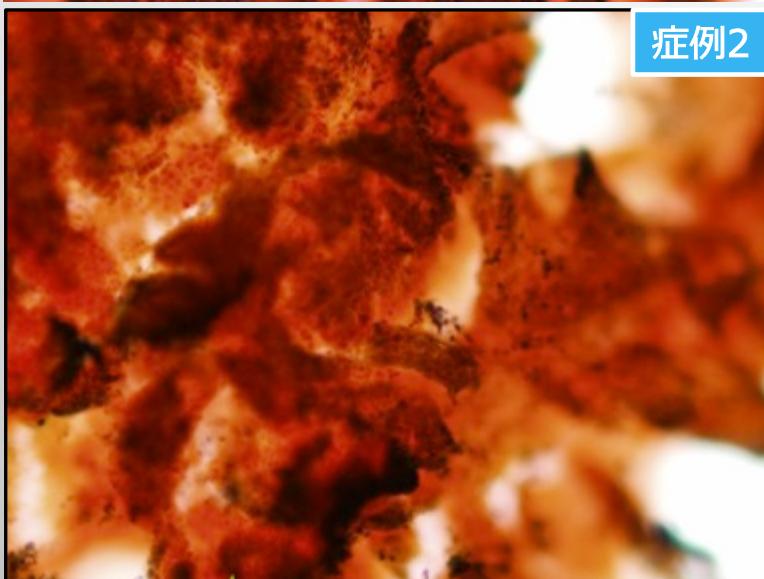
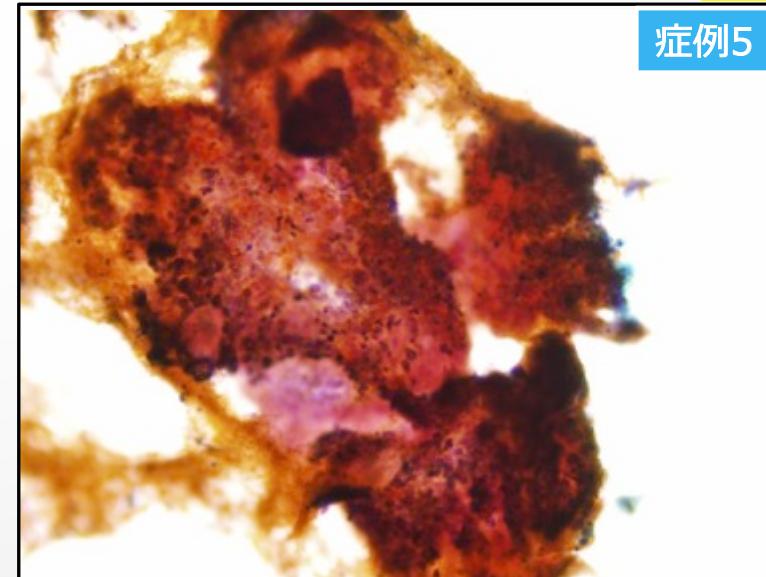
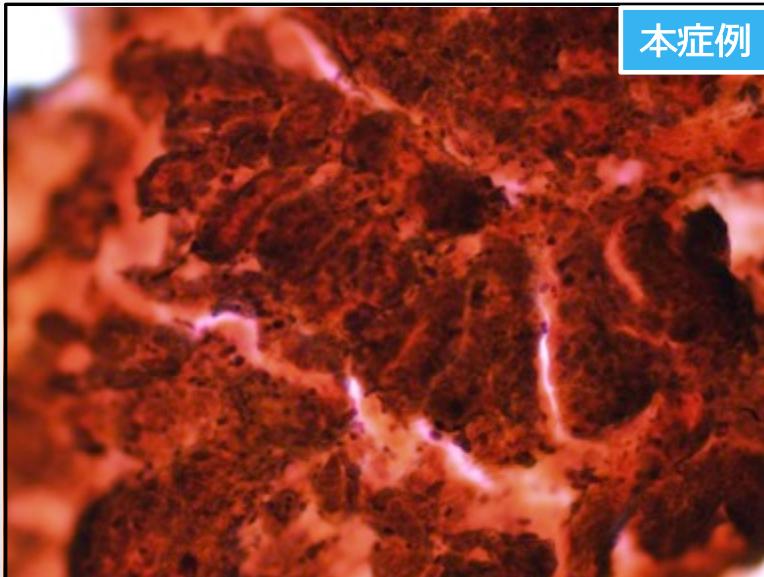
対物×10



子宮体部漿液性腺癌 7 例の細胞像

②多数の乳頭状集塊・・・4例

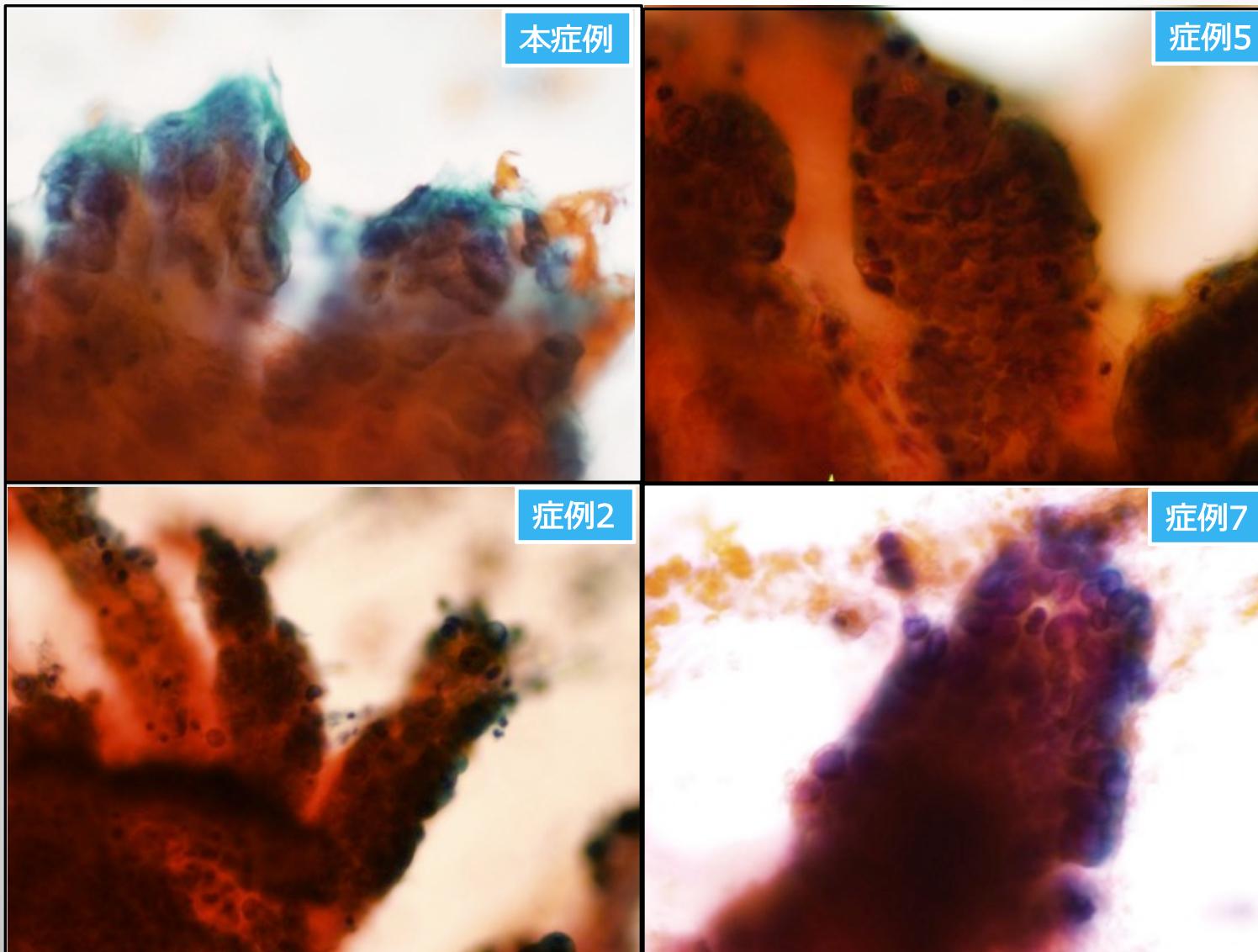
対物×10



子宮体部漿液性腺癌 7 例の細胞像

核密度の高い異型細胞の集塊外層への半島状突出

対物×40

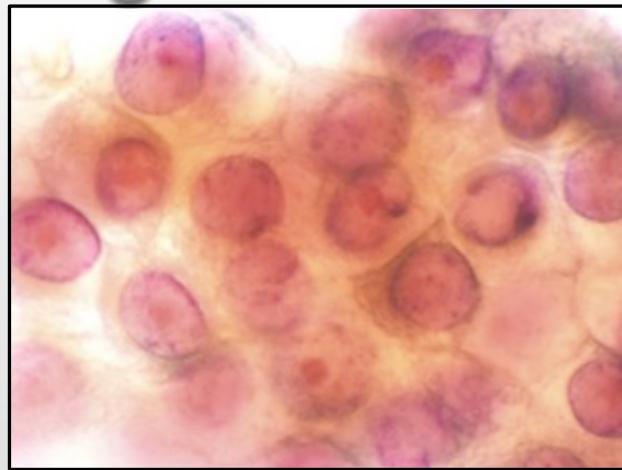


子宮体部漿液性腺癌 7 例の細胞像

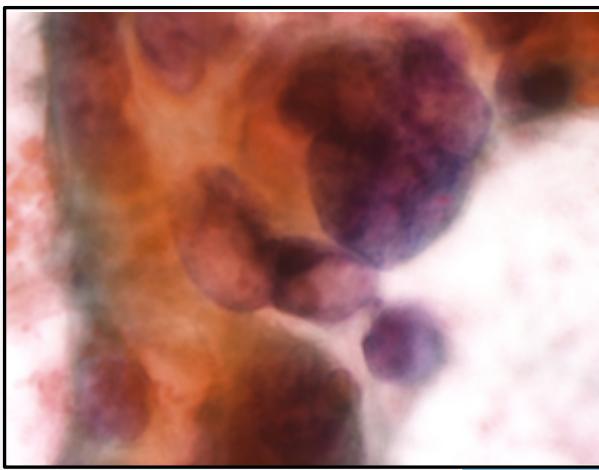
③大型で大小不同に富んだ核… 6 例

④明瞭な核小体… 6 例 核小体複数化… 1 例

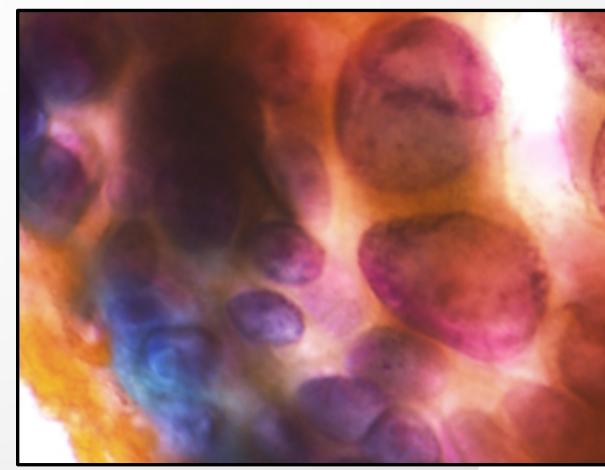
対物×100



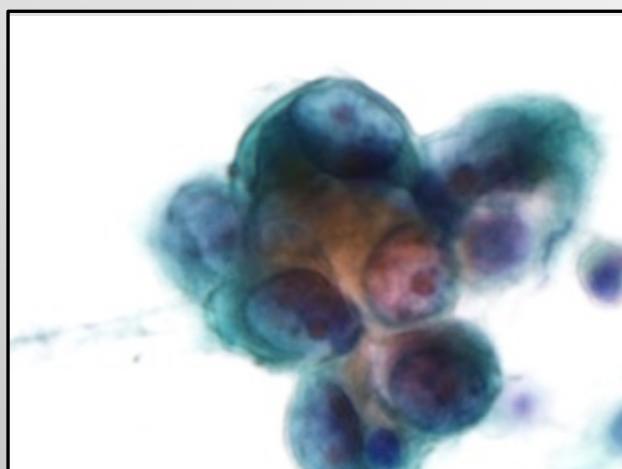
症例1



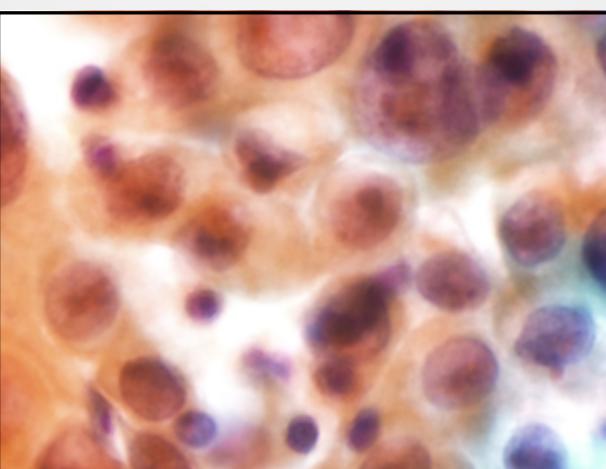
本症例



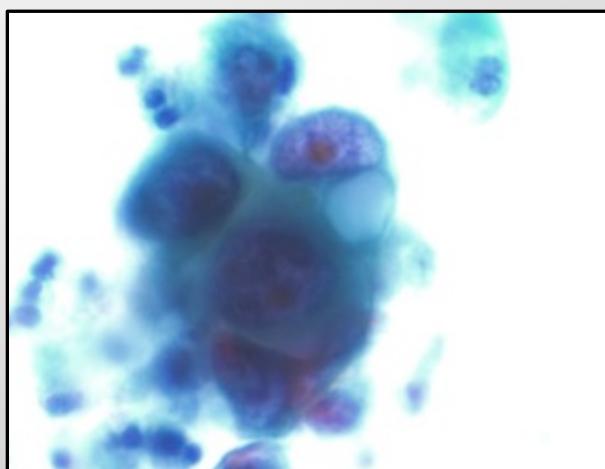
症例6



症例2



症例5



症例7

子宮体部漿液性腺癌7例の細胞学的所見

① 腫瘍壊死性背景 (3例)

萎縮内膜の混在 (6例)

※採取細胞量が十分の場合

② 集塊構成

多数の乳頭状集塊 (4例)

集塊外層への半島状突出 (4例)

大型乳頭状集塊
外層への半島状突出

③ 大型で大小不同に富んだ核 (6例)

N/C比増大 (6例)

④ 明瞭な核小体 (6例)

核小体複数化 (1例)

高度な核異型

⑤ 砂粒小体 (0例)



出現率が低い

+

漿液性腺癌を疑う細胞所見

子宮体部漿液性腺癌における重要な細胞所見

①乳頭状大型集塊

複雑な分岐・集塊辺縁での半島状突出

②細胞異型が顕著である

N/C比増大、大型で大小不同に富んだ核、

明瞭な核小体を有する

細胞診標本上、papillaryな集塊構成と

細胞異型の強さが同居する像が見られることが重要